

「古典の日」講演会

聴講無料
※要事前申込

日時 平成29年11月3日(金・祝)

13:30~16:00(開場 12:30)

会場 イイノホール

(東京都千代田区内幸町2-1-1)

講演内容

1 伊勢物語を英訳すること
—その挑戦と醍醐味

ピーター・J・マクミラン(翻訳家)

2 伊勢物語と平安貴族の生活

山本 登朗(平安時代文学/関西大学教授・国文学研究資料館客員教授)

*毎年開催している「古典の日」講演会を、今年度は特別展示に合わせ「伊勢物語」特集として開催します。

特別展示

伊勢物語のかがやき —鉄心斎文庫の世界—

会期 平成29年10月11日~12月16日(日曜、祝日、展示室整備日を除く)

会場 国文学研究資料館1階展示室

開室時間 10時~16時30分(入場は16時まで)

主催：国文学研究資料館

後援：読売新聞社



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
国文学研究資料館
National Institute of Japanese Literature

「古典の日」講演会

「古典の日」は、古典が我が国の文化において重要な位置を占め、優れた価値を有していることに鑑み、国民が広く古典に親しむことを目的として、平成24年3月に法制化されました。11月1日は、我が国の代表的な古典作品である『源氏物語』の成立に関して、最も古い記録日時が寛弘五年(1008)11月1日であることから、この日に定められました。日本古典文学の文献資料収集と研究を主事業とする国文学研究資料館も、「古典の日」の趣旨に賛同し、平成24年度から記念の講演会を催しております。古典に親しむ絶好の機会として、大勢の方にお出でいただくことを願っております。

講師紹介

ピーター・J・マクミラン (翻訳家)

アイルランド生まれ、日本に在住して約30年になる。2016年にペンギン・クラシックスから『伊勢物語』の英訳“The Tales of Ise”を刊行する。近著に『英語で読む 百人一首』(文春文庫、2017年)がある。

山本 登朗 (平安時代文学／関西大学教授・国文学研究資料館客員教授)

『伊勢物語』を中心として、平安時代文学の研究を行う。著書『伊勢物語論—文体・主題・享受』(笠間書院、2001年)、『絵で読む伊勢物語』(和泉書院、2016年)、『伊勢物語の生成と展開』(笠間書院、2017年)の他、多くの共著書・編著書がある。

申込方法

事前申込 先着450名

●往復ハガキまたはE-mailに ①氏名(フリガナ) ②郵便番号 ③住所 ④電話番号をご記入のうえ、期日までお申し込みください。なお、お申し込みは、お一人様1回限りとさせていただきます。また、同時に複数名でのお申し込みは受け付けられませんので、ご了承ください。

●ハガキの場合(往復ハガキにてお送りください。)

宛先：〒190-0014東京都立川市緑町10-3

宛名：国文学研究資料館「古典の日」講演会係

●E-mailの場合

宛先：event@nijl.ac.jp

件名：平成29年度「古典の日」講演会(氏名)

●申込締切日

平成29年10月6日(金)必着

※当選者の発表は、10月下旬頃までの受講票の発送をもってかえさせていただきます。
※この申し込みを通じて得た個人情報は、連絡業務のみに使用させていただきます。
※自然災害により交通機関等への影響が予想される場合は、講演会を中止することがあります。

交通案内



イイノホール

- 東京メトロ 日比谷線・千代田線「霞ヶ関」駅 C4出口直結
- 東京メトロ 丸の内線「霞ヶ関」駅 B2出口 徒歩5分
- 東京メトロ 銀座線「虎ノ門」駅 9番出口 徒歩3分
- 東京メトロ 有楽町線「桜田門」駅 5番出口 徒歩10分
- JR山手線・京浜東北線・東海道線・横須賀線、都営地下鉄浅草線、ゆりかもめ「新橋」駅 徒歩10分
- 都営地下鉄 三田線「内幸町」駅 A7出口徒歩3分

問い合わせ先



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
国文学研究資料館
National Institute of Japanese Literature

所在地：〒190-0014 東京都立川市緑町 10-3

電話番号：050-5533-2910

Web：http://www.nijl.ac.jp/